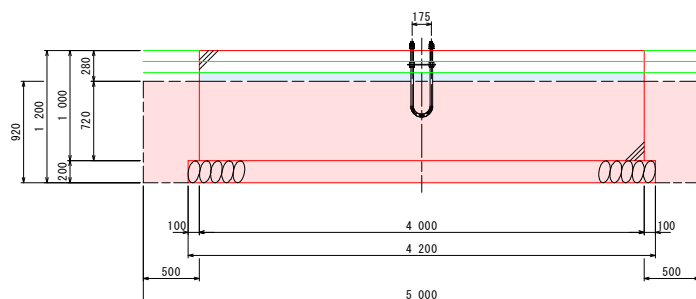


レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	レベル6 積算要素	単位	当初数量		変更数量		摘要
							計算数量	計上数量	計算数量	計上数量	
道路改良	道路土工	盛土工	路肩盛土	CB210510	路体(築堤)盛土	式		1			
						式		1			
						式		1			
	残土処理工	土砂等運搬	土砂等運搬	土砂 L=13.2km	土砂等運搬 残土受け入れ価格	m3	22.4	20			2.5m未満
						m3	22.4	22			
						式		1			
	落石雪害防止工	作業土工	床掘り	CB210030	床掘り	m3	89.4	90			道路土工83.6m3+標識5.8m3
						m3	89.4	89			標準、バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3)、土砂(岩塊・玉石混り土含む)、無し、13.5km以下
						m3	89.4	89			
	防雪柵基礎工	基礎杭	基礎杭	φ318.5 t=6mm L=2.5~3.0m	鋼管杭打込工	式		1			
						式		1			
						m3	182.2	180			
	防草工	防草工	高炉②18-8-40 t=10cm	コンクリート打設工	養生工	m3	182.2	182			土砂、平均施工幅1m以上2m未満、無し、無し
						m3	66.3	70			最大埋戻幅1m未満
						m3	66.3	66			
	舗装	舗装工	アスファルト舗装工(本線・車道)	下層路盤(車道・路肩部)	再生砕石(RC-40) t=35cm	式		1			
						式		1			
						式		1			
	舗装	舗装工	アスファルト舗装工(本線・歩道)	凍上抑制層	路盤用砂 t=15cm	m2	2616.4	2620			350mm、2層施工、再生クラッシュラン RC-40
						m2	2616.4	2616			
						m2	2514.1	2510			粒度調整砕石 M-40150mm、1層施工
	舗装	舗装工	アスファルト舗装工(本線・車道)	上層路盤(車道・路肩部)	粒調砕石(M-40) t=15cm	m2	2514.1	2514			
						m2	2514.1	2514			
						m2	2501.9	2500			
	舗装	舗装工	アスファルト舗装工(本線・歩道)	凍上抑制層	路盤用砂 t=15cm	m2	2501.9	2502			3.0m超、40mm、各種(2.30以上2.40t/m3未満)、プライムコート PK-3
						m2	2501.9	2502			
						m2	2501.9	2502			
	舗装	舗装工	アスファルト舗装工(本線・車道)	上層路盤(車道・路肩部)	粒調砕石(M-40) t=15cm	m2	2514.1	2510			
						m2	2514.1	2514			
						m2	2501.9	2500			
	舗装	舗装工	アスファルト舗装工(本線・歩道)	凍上抑制層	路盤用砂 t=15cm	m2	2501.9	2502			3.0m超、40mm、各種(2.30以上2.40t/m3未満)、プライムコート PK-3
						m2	2501.9	2502			
						m2	2501.9	2502			
	舗装	舗装工	アスファルト舗装工(本線・車道)	上層路盤(車道・路肩部)	粒調砕石(M-40) t=15cm	m2	2514.1	2510			
						m2	2514.1	2514			
						m2	2501.9	2500			
	舗装	舗装工	アスファルト舗装工(本線・歩道)	凍上抑制層	路盤用砂 t=15cm	m2	2501.9	2502			3.0m超、40mm、各種(2.30以上2.40t/m3未満)、プライムコート PK-3
						m2	2501.9	2502			
						m2	2501.9	2502			

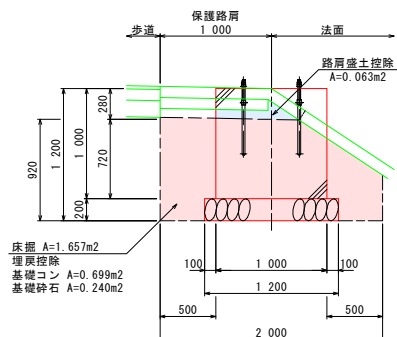
[illegible]

作業土工図

正面图



側面図



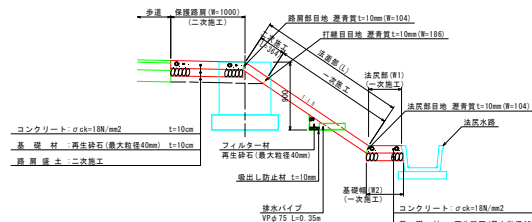
数量計算書(10箇所当り)

名 称	规 格	算 式	数 量
一次施工			
床掘		$1.657 \times 5.00 \times 10$	82.85 m ³
埋戻	埋戻D	$82.85 - (0.699 + 4.00 + 0.24 \times 4.20) \times 10$	44.81 m ³
二次施工			
路肩盛土	控除	$0.063 \times 4.00 \times 10$	2.52 m ³

[illegible]

作業土工 防草工

防草工標準図

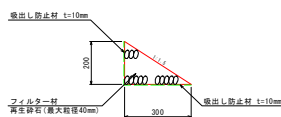


防草工(一次施工)数量計算書(100m当り)

[illegible]

※伸縮目地は10m以内とし、防雪柵基礎工2スパンに1箇所、転落防止柵基礎工4スパンに1箇所とする。
※防雪柵基礎工等の追加控除数量は含まれていない為、別途計上を行うものとする。

フィルター材詳細図

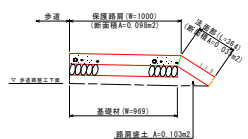


フィルター材数量計算書(100m当り)

名 称	規 格	算 式	数 量
フィルター材	厚5mm (最大粒径40mm)	$(1/2 \times 0.3 + 0.2) \times 100$	3.00 m ³
排水し防止材	10mm	$(0.3 + 0.2) \times 100$	50.0 m ²
透水パイプ	VP 65	35×本数	- m

※透水パイプは、防雪機能舗装1m²に1箇所、転落防止機能舗装2m²に1箇所と
※排水管と同材質等により、雨水等の湧き出し及び浸透がないと判断される場合、必要

防草工（二次施工）詳細図



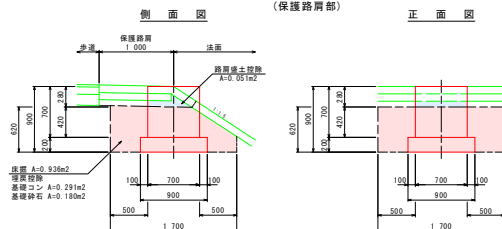
防草工(二次施工)数量計算書(100m当り)

材名	規格	算式	数量
コンクリート	$\sigma \text{ ck}=18\text{N}/\text{mm}^2$	$(0.090+0.035) \times 100$	13.30 m ²
埋設砂材		$(0.098+0.035) \times 2$	0.27 m ²
基礎砂材	養生砂材 (表式埋設42mm)	0.969×100	96.9 m ²
伸縮目地	埋青質 $\times 10\text{mm}$	$(0.090+0.035) \times \text{箇所数}$	- m ²
防錆目地	埋青質 $\times 10\text{mm}$	0.104×100	10.4 m ²
打継目地	埋青質 $\times 10\text{mm}$	0.100×100	10.0 m ²
防錆塗土		0.103×100	10.30 m ²

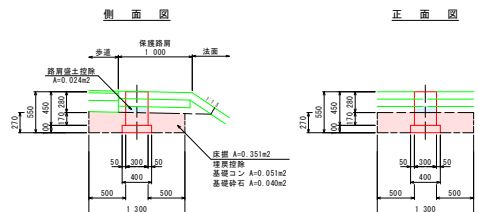
※防錆目地は10m以内とし、防錆塗土埋設土スパンに1箇所、転倒防止埋設土スパンに1箇所とする。

※伸縮目地は10m以内とし、防雪柵基礎工2スパンに1箇所、軽薄防止柵基礎工4スパンに1箇所とする。
※防雪柵基礎工等の追加除却数量は含まれていない為、別途計上を行うものとする。

固定式基礎-作業土工
(保護路肩部)



作業土工
(転落防止柵)



数量計算書(100箇所当り)

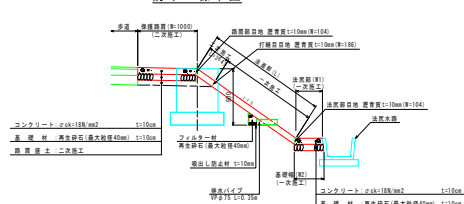
名 称	规 格	算 式	数 量
一次施工			
床面		$(0.936 \times 1.70) \times 10$	159.12 m ³
床底	床底D	$159.12 - (0.291 \times 0.7 + 0.180 \times 0.9) \times 100$	122.55 m ³
二次施工			
路肩填土	挖除	$(0.051 \times 0.70) \times 100$	3.57 m ³

数量計算書(100箇所当り)

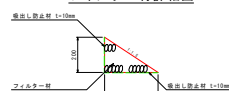
名 称	规 格	算 式	数 量
一次施工			
床面		$(0.351+1.30) \times 100$	45.63 m
墙基	墙厚D	$45.63 - (0.051 \times 0.3 + 0.040 \times 0.4) \times 100$	42.50 m
二次施工			
路肩填土	挖除	$(0.024 + 0.30) \times 100$	0.72 m

作業土工 防草工

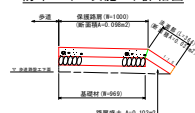
防草工標準図



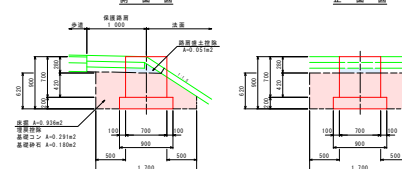
フィルター材詳細図



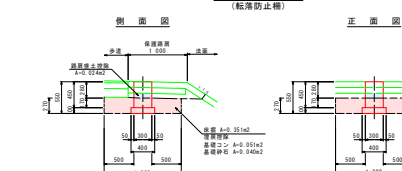
防草工(二次施工)詳細図



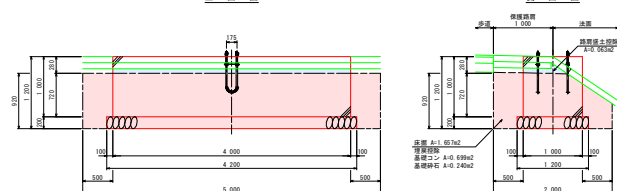
固定式基礎-作業土工
(保護路肩部)



作業土工



正面图



防草工(一次施工)数量計算書(100m当り)

名 称	规格	算 式 名 称	数 量
コンクリート	ひき+100/1002	1) 法面全体(法面) $\times 0.1 \times 0.015 \times 4$ 巻	- a3
鋼筋型枠		1) 法面全体(法面) $\times$ 鋼筋法面全体長 $\times$ 伸張鋼筋法面全体長 $\times$ 伸張鋼筋法面全体長 $\times 0.1 \times 0.015 \times 4$	- a2
基礎材	集約単位 集約単位(1000)	基礎材 $\times 0.1 \times 0.015 \times 4$	- a2
伸張鋼筋目	断面貫入10mm	1) 法面全体(法面) $\times$ 法面全体長 $\times 0.1 \times 0.015 \times$ 伸張鋼筋	- a2

法尻部員地	厚さH=10mm	0.104×100	10.4 m2
-------	----------	-----------	---------

※伸縮部員地は10m以内とし、防雪柵基礎工2スパンに1箇所、転落防止柵基礎工4スパンに1箇所とする。
 ※防雪柵基礎工等の追加探査費は含まれていない為、別添計とを行うものとする。

フィルター材数量計算書(100m当り)

名 称	規 格	算 式	数 量
フィルター材	両面粘付 (最大粒径40mm)	$(1/2 \times 0.3 \times 0.2) \times 100$	3.00 m3
吸出し防止材	t=10mm	$(0.3 \times 0.2) \times 100$	50.0 m2
緑水パイプ	VPφ75	0.35×本数	-

※緑水パイプは、防草緑基礎下15cmに1箇所、転車防草緑基礎下25cmに1箇所

※排水パイプは、防雪柵基礎工1スパンに1箇所、転落防止柵基礎工2スパンに1箇所とする。
※舗装工と同時施工等により、雨水等の排水及び浸透がないと判断される場合、必要無し。

防草工(二次施工)数量計算書(100m当り)

	規格	算式	数量
コンクリート	ch=188/mm2	$(0.008+0.035) \times 100$	13.30 m3
鋼筋鉄筋		$(0.008+0.035) \times 2$	0.27 mt
基礎材	両面鉄筋 断面鉄筋	0.969×100	96.9 m2
伸縮目地	鉄骨貫入t=10mm	$(0.008+0.035) \times \text{断面数}$	-
鋼筋目地	鉄骨貫入t=10mm	0.104×100	10.4 m2
打掃目地	鉄骨貫入t=10mm	0.100×100	10.0 m2
鉄筋継ぎ		0.103×100	10.3 m2

※神船泊地は10m以内とし、防雪棚基礎工2スパンに1箇所、転落防止棚基礎工4スパンに1箇所とする。
※防雪棚基礎工等の追加扣除数量は含まれていない。別途計上を行うものとする。

数量計算書(100箇所当り)

名 称	规格	算 式	数 量
一次施工			
床面		$(0.936 \times 1.70) \times 10$	159.12 m ³
埋灰	埋灰D	$159.12 - (0.291 \times 0.7 + 0.180 \times 0.9) \times 100$	122.55 m ³
二次施工			
路面垫土	砂垫	$(0.051 \times 0.70) \times 100$	3.57 m ³

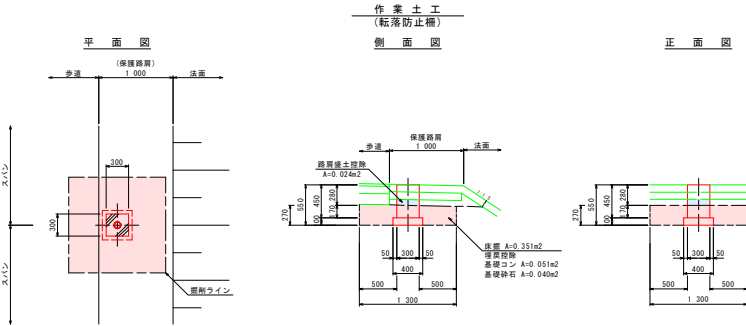
数量計算書(100箇所当り)

名 称	规格	单 式	数 量
一次施工			
床板		$(0.35 \times 1.30) \times 100$	45.63 m ³
埋炭	埋炭D	$45.63 - (0.051 \times 0.3 + 0.040 \times 0.4) \times 100$	42.50 m ³
二次施工			
路肩堡土	挖除	$(0.024 \times 0.30) \times 100$	0.72 m ³

数量計算書(10箇所当り)

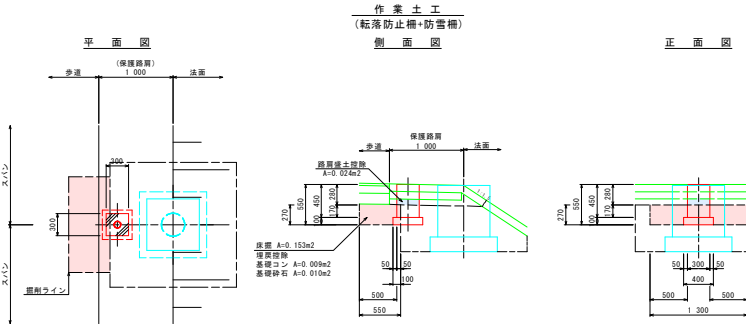
名 称	规 格	算 式	数 量
一次施工			
床面		$1.657 \times 5.00 = 10$	82.85 m ²
铺面	铺面①	$82.85 - (0.699 \times 4.00 + 0.24 \times 4.20) \times 10$	44.81 m ²
二次施工			
路肩填土	砂垫	$0.063 \times 4.05 = 10$	2.52 m ²

作業土工 転落防止柵



数量計算書(100箇所当り)

名称	規格	算式	数量
一次施工			
床掘		$(0.351 \times 1.30) \times 100$	45.63 m ³
埋戻	埋戻D	$45.63 - (0.051 \times 0.3 \times 0.040 \times 0.4) \times 100$	42.50 m ³
二次施工			
路肩盛土	陸揚	$(0.024 \times 0.30) \times 100$	0.72 m ³



数量計算書(100箇所当り)

名称	規格	算式	数量
一次施工			
床掘		$(0.153 \times 1.30) \times 100$	19.89 m ³
埋戻	埋戻D	$19.89 - (0.009 \times 0.3 \times 0.010 \times 0.4) \times 100$	19.22 m ³
二次施工			
路肩盛土	陸揚	$(0.024 \times 0.30) \times 100$	0.72 m ³

種別	算式	数量
N0. 125+16.320 ~N0. 126+2.418	箇所数	3.0 基
一次施工		
床掘	転落防止柵	45.63 × 3.0 / 100.0
"	転落防止柵+防雪柵	19.89 × 0.0 / 100.0
床掘合計		1.4+0.0
埋戻	埋戻D 転落防止柵	42.50 × 3.0 / 100.0
"	" 転落防止柵+防雪柵	19.22 × 0.0 / 100.0
埋戻合計		1.3+0.0
N0. 126+10.883 ~N0. 129+5.000	箇所数	28.0 基
一次施工		
床掘	転落防止柵	45.63 × 28.0 / 100.0
埋戻	埋戻D 転落防止柵	42.50 × 28.0 / 100.0
N0. 129+11.076 ~N0. 132+1.076	箇所数	26.0 基
一次施工		
床掘	転落防止柵	45.63 × 24.0 / 100.0
"	転落防止柵+防雪柵	19.89 × 2.0 / 100.0
床掘合計		11.0+0.4
埋戻	埋戻D 転落防止柵	42.50 × 24.0 / 100.0
"	" 転落防止柵+防雪柵	19.22 × 2.0 / 100.0
埋戻合計		10.2+0.4
転落防止柵 作業土工合計	箇所数	3.0+28.0+26.0
一次施工		
床掘		1.4+12.8+11.4
埋戻	埋戻D	1.3+11.9+10.6

§ 4. 基 礎 工

数 量 表

名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量	摘 要
固 定 式 (根 巻 コ ン ク リ ー ト)	B700-L700-H700	基	31.0	
脱 着 式 (根 巻 コ ン ク リ ー ト)	B800-L800-H800	"	0.0	
直 接 基 礎	B1000-L4000-H1000	"	1.0	
基 礎 工 合 計		"	32.0	
固 定 式 (鋼 管 杭)	φ 318.5 t=6.0mm L=2.5m	本	28.0	
	" L=3.0m	"	3.0	
	" L=3.5m	"	0.0	
	" L=4.0m	"	0.0	
	" L=4.5m	"	0.0	
	" L=5.0m	"	0.0	
	" L=5.5m	"	0.0	
固 定 式 (鋼 管 杭) 合 計		"	31.0	
脱 着 式 (鋼 管 杭)	φ 318.5 t=6.0mm L=3.5m	基	0.0	
	" L=4.5m	"	0.0	
	" L=5.5m	"	0.0	
脱 着 式 (鋼 管 杭) 合 計		"	0.0	
鋼 管 杭 合 計		基	31.0	

基 礎 工

集 計 表

名 称	規格・寸法	基 数	鋼管杭 φ318.5 t=6.0mm							ずれ止め	ストッパー	現場溶接	コンクリート	型 枠	基礎材	排水パイプ	基礎蓋
			L=2.5m	L=3.0m	L=3.5m	L=4.0m	L=4.5m	L=5.0m	L=5.5m	PL-25 9mm	PL-25 9mm	脚長 入9mm	18-8-40		再生砕石 最大粒径40mm t=20cm	φ30 L=0.30m/基	鋼管板蓋450×750 H=1.0枚/基
固 定 式 (根巻コンクリート)	B700-L700-H700	基 31.0											m3 10.6	m2 60.8	m2 25.1		
脱 着 式 (根巻コンクリート)	B800-L800-H800	基 0.0											m3 0.0	m2 0.0	m2 0.0	m 0.0	枚 0.0
直 接 基 礎	B1000-L4000-H1000	基 1.0											m3 4.0	m2 10.0	m2 5.0		
基 礎 工 合 計		基 32.0											m3 14.6	m2 70.8	m2 30.1	m 0.0	枚 0.0
固 定 式 (鋼 管 杭)	φ318.5 t=6.0mm L=2.5m	基 28.0	kg 3234.0							(89.2+98.5) kg 187.7	kg 14.9	m 110.3					
	" L=3.0m	基 3.0		kg 415.8						(9.6+10.6) kg 20.2	kg 1.6	m 11.9					
	" L=3.5m	基 0.0			kg 0.0					(0.0+0.0) kg 0.0	kg 0.0	m 0.0					
	" L=4.0m	基 0.0				kg 0.0				(0.0+0.0) kg 0.0	kg 0.0	m 0.0					
	" L=4.5m	基 0.0					kg 0.0			(0.0+0.0) kg 0.0	kg 0.0	m 0.0					
	" L=5.0m	基 0.0						kg 0.0		(0.0+0.0) kg 0.0	kg 0.0	m 0.0					
	" L=5.5m	基 0.0							kg 0.0	(0.0+0.0) kg 0.0	kg 0.0	m 0.0					
小 計		基 31.0	kg 3234.0	kg 415.8	kg 0.0	kg 0.0	kg 0.0	kg 0.0	kg 0.0	kg 207.9	kg 16.5	m 122.2					
脱 着 式 (鋼 管 杭)	φ318.5 t=6.0mm L=3.5m	基 0.0			kg 0.0					(0.0+0.0) kg 0.0	kg 0.0	m 0.0					
	" L=4.5m	基 0.0					kg 0.0			(0.0+0.0) kg 0.0	kg 0.0	m 0.0					
	" L=5.5m	基 0.0						kg 0.0		(0.0+0.0) kg 0.0	kg 0.0	m 0.0					
小 計		基 0.0			kg 0.0		kg 0.0		kg 0.0	kg 0.0	kg 0.0	m 0.0					
鋼 管 杭 合 計		基 31.0															
小 計			kg 3234.0	kg 415.8	kg 0.0	kg 0.0	kg 0.0	kg 0.0	kg 0.0	kg	kg	m	m3	m2	m2	m	枚
合 計									3649.8	207.9	16.5	122.2	14.6	70.8	30.1	0.0	0.0

基礎工

延長調書

(右側)

固定式(根巻コンクリート)

測 点	延長・個数	測 点	延長・個数
	基	NO.131 + 17.077 ~ NO.132 + 9.076	3: 0 基
		NO.132 + 9.076 ~ NO.134 + 7.898	10: 0 基
		NO.134 + 11.898 ~ NO.137 + 18.846	18: 0 基
小 計	0 0 基	小 計	31: 0 基
		合 計	31: 0 基

基礎工

延 長 調 書

(右側)

脱着式(根巻コンクリート)		直接基礎 : B1000-L4000-H1000	
測 点	延 長 ・ 個 数	測 点	延 長 ・ 個 数
	基	NO.134 + 7.898	1.0 基
合 計	0.0 基	合 計	1.0 基

基礎工

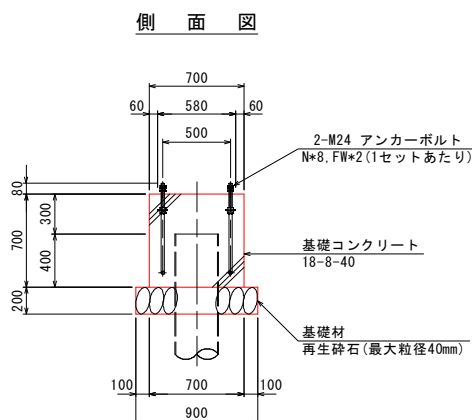
延長調書

(右側)

固定式：鋼管杭+根巻($\phi 318.5$ t=6.0mm L=2.5m)		固定式：鋼管杭+根巻($\phi 318.5$ t=6.0mm L=3.5m)	
測 点	延長・個数	測 点	延長・個数
	基		基
NO.132 + 9.076 ~ NO.134 + 3.898	10 0		
NO.134 + 11.898 ~ NO.137 + 18.846	18 0		
合 計	28 0 基	合 計	0 0 基
固定式：鋼管杭+根巻($\phi 318.5$ t=6.0mm L=3.0m)		固定式：鋼管杭+根巻($\phi 318.5$ t=6.0mm L=4.0m)	
測 点	延長・個数	測 点	延長・個数
	基		基
NO.131 + 17.077 ~ NO.132 + 9.076	3 0		
合 計	3 0 基	合 計	0 0 基

固定式(根巻コンクリート)

基礎コンクリート詳細図

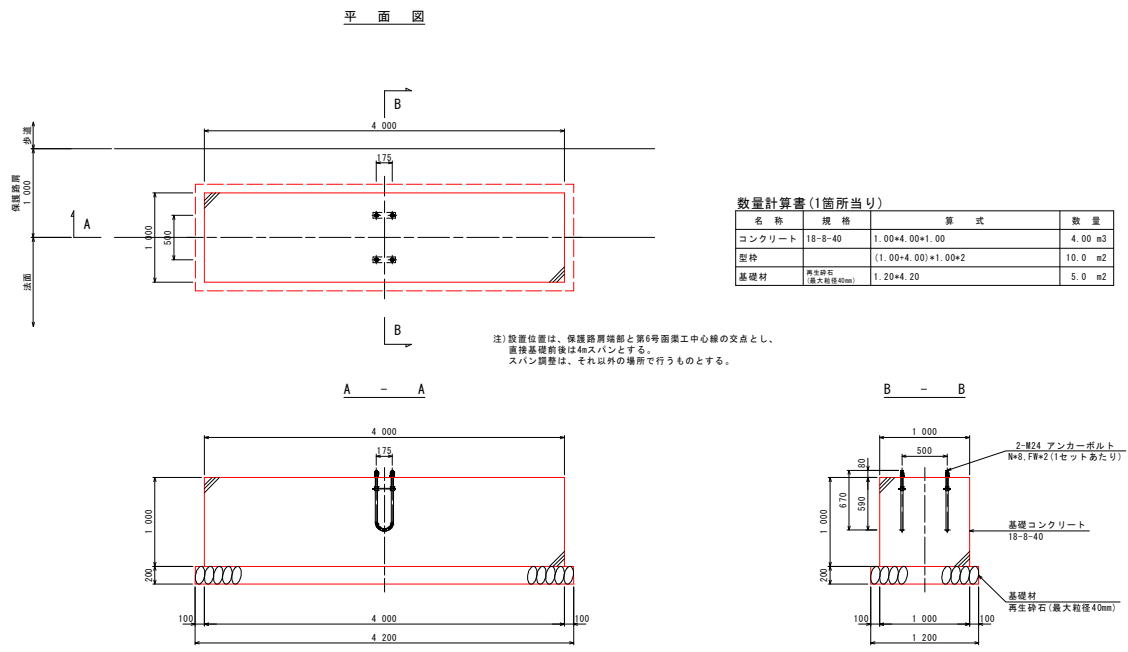


数量計算書(10箇所当り)

名 称	規 格	算 式	数 量
コンクリート	18-8-40	$(0.7 \times 0.7 \times 0.7) \times 10$	3.43 m ³
型枠		$(0.7 \times 0.7 \times 4) \times 10$	19.6 m ²
基礎材	再生砕石 (最大粒径40mm)	$(0.9 \times 0.9 \times 10)$	8.1 m ²

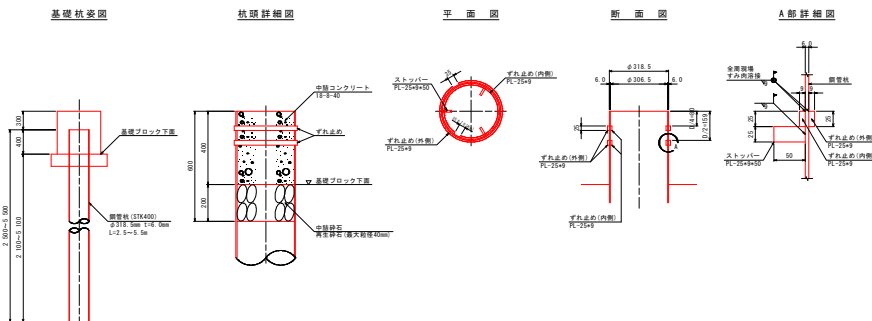
[illegible]

直接基礎 (B1000-L4000-H1000)



種 別	算 式		数 量
箇 所 数	延長調書より		1 0 基
コ ン ク リ ー ト	18-8-40	$(1.00 \times 4.00 \times 1.00) \times 1.0$	4 0 m ³
同 上 型 枠		$((1.00 + 4.00) \times 1.00 \times 2) \times 1.0$	10 0 m ²
基 礎 材	再生砕石 最大粒径40mm t=20cm	$(1.20 \times 4.20) \times 1.0$	5 0 m ²
防雪柵アンカーボルト	2-M24×670 B, N#8、FW#2	1組/基当り 1×1.0	1 0 組
アンカーボルト詳細図 S=1:10			
材 料 表			
No	部 品 名	規格-仕様	数 量
1	アンカーボルト	SS400 M24	1
2	プレート	SS400 FB-6×65(黒)	1
3	ナット	M24(めっき)	8
4	ワッシャー	インチサイズ(めっき)	2
1本当り重量: 7.00kg			
注) -特記のない部品の表面処理は、JIS H8641(溶融亜鉛めっき)に準ずる。 -ボルトねじ部は溶融亜鉛めっきHD235。			

固定式：鋼管杭+根卷($\phi 318.5$ t=6.0mm L=3.0m)



φ 318.5 t=6.0mm					
名 称	形 状	数 量	単位重量 (kg/m)	質量 (kg)	備 考
鋼管柱	φ318.5×(H=2.500	2.5m	46.2	115.50	
	φ318.5×(H=3.000	3.0m	46.2	138.60	
	φ318.5×(H=3.500	3.5m	46.2	161.70	
	φ318.5×(H=4.000	4.0m	46.2	184.80	
	φ318.5×(H=4.500	4.5m	46.2	207.90	
	φ318.5×(H=5.000	5.0m	46.2	231.00	
	φ318.5×(H=5.500	5.5m	46.2	254.10	
ずれ止め	PL-254×900	2個	1.77	3.18	
ずれ止め	PL-254×904	2個	1.77	3.52	
ストッパー	PL-254×50	6個	1.77	0.53	
現場溶接長	ずれ止め(部長 1.9mm)	L=3.79m			
	ストッパー(部長 1.9mm)	L=0.15m			

基礎杭寸法(W)		
	基礎杭	重量(kg/m)
鋼管杭	鋼管 STK400 ϕ 318.5 t=6.0mm	46.2

防草工

集 計 表	
1	2
3	4
5	6
7	8
9	10
11	12
13	14
15	16
17	18
19	20
21	22
23	24
25	26
27	28
29	30
31	32
33	34
35	36
37	38
39	40
41	42
43	44
45	46
47	48
49	50
51	52
53	54
55	56
57	58
59	60
61	62
63	64
65	66
67	68
69	70
71	72
73	74
75	76
77	78
79	80
81	82
83	84
85	86
87	88
89	90
91	92
93	94
95	96
97	98
99	100

[illegible]

防草工

集	計	表
---	---	---

[illegible]

防草工

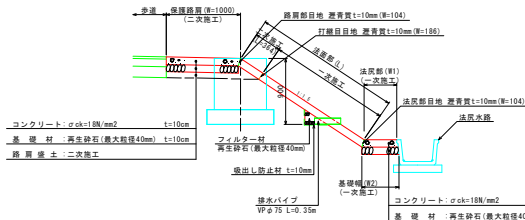
延 長 調 書

(右側)

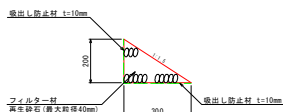
防草工			
測 点	延長・個数	測 点	延長・個数
NO. 125 + 16.320 ~ NO. 126 + 4.466	8.1		
NO. 126 + 9.351 ~ NO. 129 + 5.731	56.1		
NO. 129 + 9.167 ~ NO. 138	170.8		
合 計	235.0 m		

防草工 (NO. 125+16.320~NO. 126+4.466) (一次施工)

防草工標準図



フィルター材詳細図

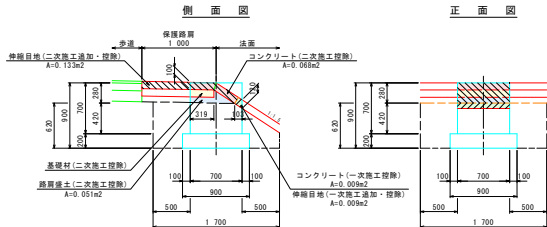


フィルター材数量計算書(100m当り)

名 称	規 格	算 式	数 量
フィルタ材	青良神石 (最大粒径40mm)	$(1/2 \times 0.3 \times 0.2) \times 100$	3.00 m ³
級出し防止材	t=10mm	$(0.3 \times 0.2) \times 100$	50.0 m ²
排水パイプ	VPφ75	0.35×本数	- m

※排水パイプは、防雪機基礎工1スパンに1箇所、転落防止機基礎工2スパンに1箇所とする。
※舗装工と同時施工等により、雨水等の滞水及び浸透がないと判断される場合、必要無し。

防雪柵基礎(固定式)



正面图

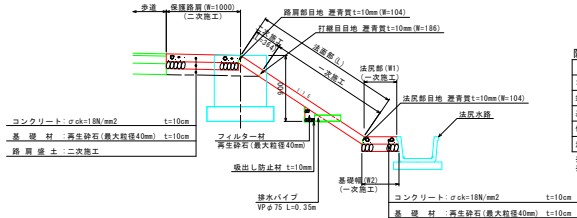
防雪柵基礎工(固定式)追加控除数量計算書(100箇所当り)

名 称	規格	算 式	数 量
コンクリート	一次土工工事	$0.009+0.7 \times 100$	0.63 m3
	二次土工工事	$0.068+0.7 \times 100$	4.76 m3
基礎土	二次土工工事	$0.319+0.7 \times 100$	22.32 m3
路肩削目地	二次土工工事	$0.164+0.7 \times 100$	7.28 m3
打削目地	二次土工工事	$0.100+0.7 \times 100$	7.00 m3
砂 留 目 地	一次土工工事	0.009/100	0.90 m2
	二次土工工事	0.133/100	13.30 m2
	砂留部埋戻土工事	$0.120+0.7 \times (0.092+1)00$	10.20 m2
路肩埋戻土	砂留部埋戻土工事	$0.100+0.7 \times (0.133+1)00$	33.60 m2
	二次土工工事	$0.051+0.7 \times 100$	3.57 m3

種 別	算 式	数 量
NO. 125+16.320 ～NO. 126+4.466	一次施工	
延 長	延長調書より	8.1m
コ ン ク リ ー ト	体積 18-8-40、t=10cm 計算書より（法面+法尻）×0.10 (29.9+3.3)×0.10	3.3m ³
	控除 二次施工法面 0.035×8.1	0.3m ³
	防雪柵基礎工（固定式） 0.63×0.0/100.0	0.0m ³
	排水パイプ VPφ75（外径φ89）控除延長L=0.180m 箇所数N=2.0箇所 1/4×π×(0.089 ²)×0.180×2.0	0.00m ³
	体積合計 3.3-(0.30+0.00+0.00)	3.0m ³
	面積 3.0/0.10	30.0m ²
同 上 型 枠	端部型枠 （起点側法面+起点側法尻+終点側法面+終点側法尻）×0.10 (3.7+0.4)+(3.7+0.4)×0.10	0.8m ²
	控除 二次施工法面 0.035×2	0.1m ²
	合計 0.8-0.1	0.7m ²
基 礎 材	再生砕石 最大粒径40mm、t=10cm 計算書より 4	4.0m ³
	体積 4.0×0.10	0.4m ³
目 地 材	伸縮目地 瀝青質t=10mm （法面全体平均長+法尻平均長）×0.10×箇所数 (3.70+0.40)×0.10×1.0	0.4m ²
	控除 二次施工法面 0.035×1.0	0.0m ²
	防雪柵基礎工（固定式） 0.90×0.0/100.0	0.0m ²
	伸縮目地合計 0.4-(0.0+0.0)	0.4m ²
	法尻部目地 瀝青質t=10mm 10.4×8.1/100.0	0.8m ²
	防雪柵基礎工（固定式） 10.20×0.0/100.0	0.0m ²
	目地材合計 0.4+0.8+0.0	1.2m ²
フ ィ ル タ ー 材	再生砕石 最大粒径40mm 3.00×8.1/100.0	0.2m ³
吸 出 し 防 止 材	t=10mm VPφ75 50.0×8.1/100.0	4.1m
排 水 パ イ プ	L=0.35m/箇所 0.35×2.0	0.7m

防草工 (NO. 126+9.351~NO. 129+5.731) (一次施工)

防草工標準図

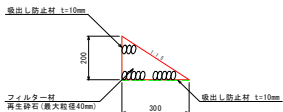


防草工 (一次施工) 数量計算書 (100m当り)

名称	規格	算式名称	数量
コンクリート	φ 6k=180mm/2	(1) 法面全長×法厚÷4.1×0.035×埋巻	- m3
端部型枠		法面側壁全長×埋巻厚÷埋巻厚×埋巻厚÷埋巻厚	- m2
基礎材	再生砕石 (最大粒径40mm)	埋巻厚×埋巻	- m2
伸縮目地	埋巻厚 t=10mm	(1) 法面全長×平均長×法厚平均長÷4.1×0.035×埋巻厚	- m2
法尻部目地	埋巻厚 t=10mm	0.104×100	10.4 m2

※伸縮目地は10m以内とし、防草シート基礎工2スパンに1箇所、転落防止埋巻工4スパンに1箇所とする。
※防草シート基礎工等の追加埋巻数量は含まれていない為、別途計上を行うものとする。

フィルター材詳細図



フィルター材数量計算書 (100m当り)

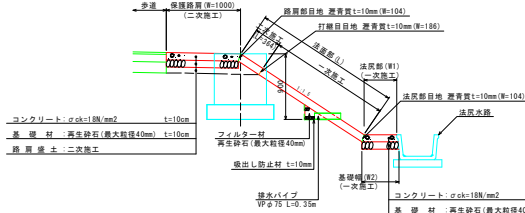
名称	規格	算式	数量
フィルター材	再生砕石 (最大粒径40mm)	(1) 2×0.3×0.2×埋巻	3.00 m3
吸出し防止材	t=10mm	(2) 3×0.2×埋巻	50.0 m2
排水パイプ	VPφ75	0.35×埋巻	- m

※排水パイプは、防草シート基礎工1スパンに1箇所、転落防止埋巻工2スパンに1箇所とする。
※埋巻工と同時施工等により、雨水等の排水及び浸透がないと判断される場合、必要無し。

種別	算式	数量
NO. 126+9.351 ~NO. 129+5.731	一次施工	
延長	延長調査より	56.1 m
コンクリート	体積 18-8-40, t=10cm 計算書より (法面+法尻) × 0.10 (214.6+22.4) × 0.10 23.7 m3 控除 二次施工法面 0.035 × 56.1 2.0 m3 排水パイプ VPφ75 (外径φ89) 控除延長L=0.180m 箇所数N=14.0箇所 1/4 × π × (0.089^2) × 0.180 × 14.0 0.016 m3 体積合計 23.7 - (2.0 + 0.016) 21.7 m3 面積 21.7/0.10 217.0 m3	
同上型枠	端部型枠 控除 二次施工法面 合計 (起点側法面+起点側法尻+終点側法面+終点側法尻) × 0.10 (3.8+0.4) + (3.9+0.4) × 0.10 0.9 m2 0.1 m2 0.1 m2 0.8 m2	
基礎材	再生砕石 最大粒径40mm, t=10cm 28.1 m3 体積 28.1 × 0.10 2.8 m3	
目地材	伸縮目地 埋巻厚 t=10mm (法面全体平均長+法尻平均長) × 0.10 × 箇所数 (3.83+0.40) × 0.10 × 7.0 3.0 m2 控除 二次施工法面 0.035 × 7.0 0.2 m2 伸縮目地合計 3.0 - 0.2 2.8 m2 法尻部目地 埋巻厚 t=10mm 10.4 × 56.1/100.0 5.8 m2 目地材合計 2.8 + 5.80 8.6 m2	
フィルター材	再生砕石 最大粒径40mm 3.00 × 56.1/100.0 1.7 m3	
吸出し防止材	t=10mm VPφ75 50.0 × 56.1/100.0 28.1 m2	
排水パイプ	L=0.35m/箇所 VPφ75 0.35 × 14.0 4.9 m	

防草工 (NO. 129+9.167~NO. 138) (一次施工)

防草工標準区



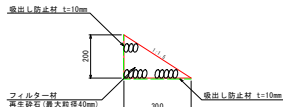
防草工(一次施工)数量計算書(100m当り)

名 称	规格	算 式 名 称	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	[[混全湿全湿+湿灰]+0.1-0.025]+湿灰	-
端部型枠		[[混全湿全湿全湿+粘土湿全湿全湿+粘土湿全湿全湿+ 粘土湿全湿全湿]+0.1-0.025+2	-
基礎材	再生砕石 (最大粒径40mm)	普通砕石+湿灰	-
伸縮目地	避青質 $t=10\text{mm}$	[[混全湿全湿平均湿+湿灰平均湿]+0.1-0.025]+普通砕石	-
基礎部目地	避青質 $t=10\text{mm}$	0.104+100	10.4

※伸縮目地は10m以内とし、防雪柵基礎工2スパンに1箇所、転落防止柵基礎工4スパンに1箇所とする
※防雪柵基礎工等の追加投算数量は含まれていない為、別途計上を行うものとする。

※防雪柵基礎工等の追加控除数量は含まれていない為、別途計上を行うものとする。

フィルター材詳細図



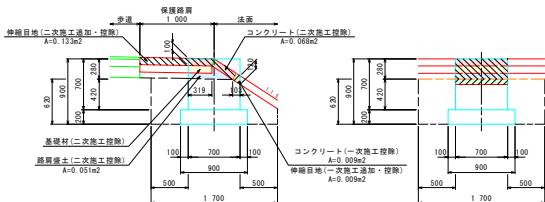
フィルター材数量計算書(100m当り)

名 称	規 格	算 式	数 量
フィルター材	両面砂石 (最大粒径40mm)	$(1/2+0.3+0.2) \times 100$	3.00 m3
吸出し防止材	t=10mm	$(0.3+0.2) \times 100$	50.0 m2
機油バンプ	100×75	0.35×本数	-

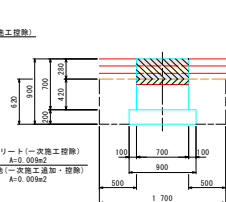
※排水パイプは、防雪柵基礎工1スパンに1箇所、転落防止柵基礎工2スパンに1箇所とする。
※舗装工と同時に施工等により、雨水等の溜水及び浸透がないと判断される場合、必要無し。

※舗装工と同時施工等により、雨水等の滞水及び浸透がないと判断される場合、必要無し。

防雪柵基礎(固定式)

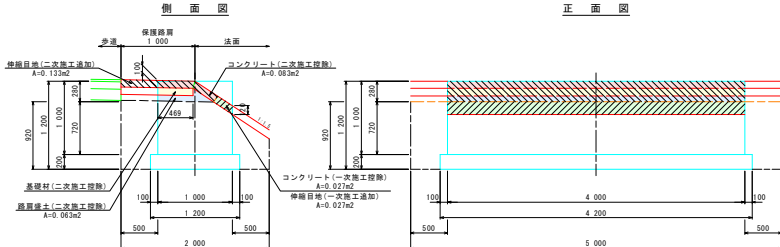


正 面



直接基砂

正 面



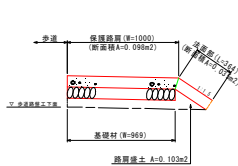
防雪柵基礎工(直接基礎)追加控除数量計算書(10箇所当り)

名 称	規 格	算 式	数 量
コンクリート	一次施工工稼	$(0.027+0.0) \times 10$	1.08 m ³
	二次施工工稼	$(0.083+0.0) \times 10$	3.32 m ³
基礎材	二次施工工稼	$(0.469+0.0) \times 10$	18.76 m ²
路肩部目地	二次施工工稼	$(0.104+0.0) \times 10$	4.16 m ²
打損目地	二次施工工稼	$(0.100+0.0) \times 10$	4.00 m ²
伸縮目地	路肩部目地 二次施工工稼	$(0.120+0.0-0.027) \times 2 \times 10$	5.34 m ²
	二次施工工稼	$(0.064+0.0-0.133) \times 2 \times 10$	6.66 m ²
路肩盛土	二次施工工稼	$(0.063+0.0) \times 10$	2.52 m ³

種 別	算 式	数 量
N0.129+9.167 ~N0.138	一次施工	
延 長	延長調査より	170.8 m
コ ン ク リ ー ト	体積 18-8-40、t=10cm 計算書より (法面+法尻)×0.10 (546.8+68.5)×0.10	61.5 m ³
	控除 二次施工法面 0.035×170.8	6.0 m ³
	防雪柵基礎工(固定式) 0.63×31.0/100.0	0.2 m ³
	防雪柵基礎工(直接基礎) 1.08×1.0/10.0	0.1 m ³
	排水パイプ VPφ75(外径φ89) 控除延長L=0.180m 箇所数N=43.0箇所 1/4×π×(0.089 ²)×0.180×43.0	0.0 m ³
	体積合計 61.5-(6.0+0.2+0.1+0.0)	55.2 m ³
	面積 55.2/0.10	552.0 m ²
同 上 型 枠	端部型枠 (起点側法面+起点側法尻+終点側法面+終点側法尻)×0.10 ((3.2+0.4)+(3.0+0.4))×0.10	0.7 m ²
	控除 二次施工法面 0.035×2	0.1 m ²
	合計 0.7-0.1	0.6 m ²
基 礎 材	再生砕石 最大粒径40mm、t=10cm 計算書より 85.5	85.5 m ³
	体積 85.5×0.10	8.6 m ³
目 地 材	伸縮目地 瀝青質t=10mm (法面全体平均長+法尻平均長)×0.10×箇所数 (3.16+0.40)×0.10×22.0	7.8 m ²
	控除 二次施工法面 0.035×22.0	0.8 m ²
	防雪柵基礎工(固定式) N=16.0箇所 0.90×16.0/100.0	0.1 m ²
	伸縮目地合計 7.8-(0.8+0.1)	6.9 m ²
	法尻部目地 瀝青質t=10mm 10.4×170.8/100.0	17.8 m ²
	防雪柵基礎工(固定式)外周目地 瀝青質t=10mm 10.20×31.0/100.0	3.2 m ²
	防雪柵基礎工(直接基礎)外周目地 瀝青質t=10mm 5.34×1.0/10.0	0.5 m ²
	目地材合計 6.9+17.8+3.2+0.5	28.4 m ²
フ ィ ル タ ー 材	再生砕石 最大粒径40mm 3.00×170.8/100.0	5.1 m ³
吸 出 し 防 止 材	t=10mm 50.0×170.8/100.0	85.4 m ²
排 水 パ イ プ	VPφ75 L=0.35m/箇所 0.35×43.0	15.1 m

防草工 (NO.125+16.320~NO.126+4.466) (二次施工)

防草工 (二次施工) 詳細図

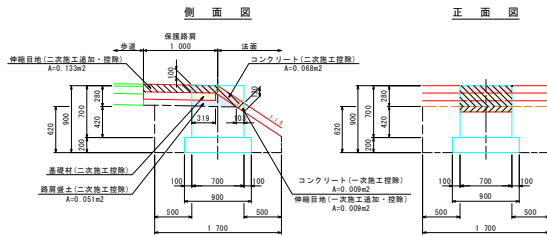


防草工 (二次施工) 数量計算書 (100m 当り)

規 格	算 式	数 量
コンクリート	$0.098+0.035 \times 100$	13.30 m ³
基礎材	$0.098+0.035 \times 2$	0.27 m ²
伸縮目地	$0.098+0.035 \times 2$	0.27 m ²
打継目地	$0.098+0.035 \times 2$	0.27 m ²
鉄筋	$0.098+0.035 \times 2$	0.27 m ²
伸縮目地	$0.098+0.035 \times 2$	0.27 m ²
打継目地	$0.098+0.035 \times 2$	0.27 m ²
鉄筋	$0.098+0.035 \times 2$	0.27 m ²

※伸縮目地は10m以内とし、防草層基礎工2スパンに1箇所、転落防止柵基礎工2スパンに1箇所とする。
※防草層基礎工等の追加防除数量は含まれていない。別途計上を行うものとする。

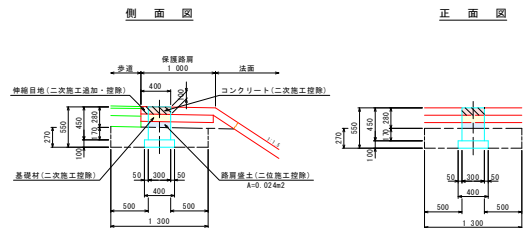
防雪柵基礎 (固定式)



防雪柵基礎工 (固定式) 追加防除数量計算書 (100箇所 当り)

名 称	規 格	算 式	数 量
コンクリート	一次施工防除	$0.009+0.7 \times 100$	0.63 m ³
基礎材	二次施工防除	$0.008+0.7 \times 100$	4.76 m ²
伸縮目地	二次施工防除	$0.319+0.7 \times 100$	22.33 m ²
打継目地	二次施工防除	$0.184+0.7 \times 100$	7.28 m ²
鉄筋	二次施工防除	$0.100+0.7 \times 100$	0.90 m ²
伸縮目地	二次施工防除	$0.009+0.7 \times 100$	0.63 m ³
基礎材	二次施工防除	$0.008+0.7 \times 100$	4.76 m ²
伸縮目地	二次施工防除	$0.319+0.7 \times 100$	22.33 m ²
打継目地	二次施工防除	$0.184+0.7 \times 100$	7.28 m ²
鉄筋	二次施工防除	$0.100+0.7 \times 100$	0.90 m ²

転落防止柵基礎



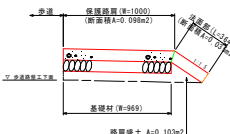
転落防止柵基礎工追加防除数量計算書 (100箇所 当り)

名 称	規 格	算 式	数 量
コンクリート	二次施工防除	$0.030+0.31 \times 100$	0.90 m ³
基礎材	二次施工防除	$0.300+0.31 \times 100$	9.00 m ²
伸縮目地	二次施工防除	$0.400+0.31 \times 100$	4.00 m ²
打継目地	二次施工防除	$0.300+0.400 \times 2+0.31 \times 100$	14.00 m ²
鉄筋	二次施工防除	$0.024+0.31 \times 100$	0.72 m ²

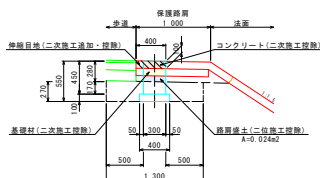
種 別	算 式	数 量
NO.125+16.320 ~NO.126+4.466	二次施工	
延 長	延長調書より	8.1 m
コ ン ク リ ート	体積 18-8-40, t=10cm 13.30×8.1/100.0 防雪柵基礎工 (固定式) N=0.0箇所 防雪柵基礎工 (固定式) 4.76×0.0/100.0 転落防止柵基礎工 0.90×3.0/100.0 体積合計 1.1-(0.0+0.0) 面積 1.1/0.10	1.1 m ³ 0.0 m ³ 0.0 m ³ 0.0 m ³ 1.1 m ³ 11.0 m ²
同 上 型 枠	端部型枠 再生砕石 全体 0.27-0.50×0.10	0.2 m ² 0.2 m ²
基 礎 材	最大粒径40mm, t=10cm 防雪柵基礎工 (固定式) N=0.0箇所 防雪柵基礎工 (固定式) 22.33×0.0/100.0 転落防止柵基礎工 N=3.0箇所 9.00×3.0/100.0 面積合計 7.8-(0.0+0.3)	0.0 m ² 0.0 m ² 0.0 m ² 0.3 m ² 7.5 m ²
目 地 材	伸縮目地 瀝青質 t=10mm 0.098+0.035×1.0箇所 防雪柵基礎工 (固定式) 13.30×0.0/100.0 転落防止柵基礎工 N=3.0箇所 4.00×3.0/100.0 伸縮目地合計 0.1-(0.0+0.1) 路肩部目地 瀝青質 t=10mm 10.4×8.1/100.0 防雪柵基礎工 (固定式) 防除 7.28×0.0/100.0 路肩部目地合計 0.8-0.0 打継目地 瀝青質 t=10mm 10.0×8.1/100.0 防雪柵基礎工 (固定式) N=0.0箇所 7.00×0.0/100.0 打継目地合計 0.8-0.0 防雪柵基礎工 (固定式) 外周目地 瀝青質 t=10mm 33.60×0.0/100.0 転落防止柵外周目地 瀝青質 t=10mm 14.00×3.0/100.0 目地材合計 0.0+0.8+0.8+0.0+0.4	0.1 m ² 0.0 m ² 0.1 m ² 0.0 m ² 0.0 m ² 0.0 m ² 0.8 m ² 0.8 m ² 0.0 m ² 0.8 m ² 0.0 m ² 0.8 m ² 0.4 m ² 2.0 m ²

防草工 (NO. 126+9. 351~NO. 129+5. 731) (二次施工)

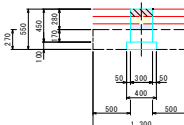
防草工（二次施工）詳細図



轉落防止柵基



正面图



防草工(二次施工)数量計算書(100m当り)

	規格	算式	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$(0.098+0.035) \times 100$	13.30 m ³
端部支柱		$(0.098+0.035) \times 2$	0.27 m ²
基礎砂	河床砂石 最大粒径40mm	0.969×100	96.9 m ²
伸縮目地	縦貫資長10mm	$(0.098+0.035) \times \text{面数}$	-
縦断部目地	縦貫資長10mm	0.104×100	10.4 m ²
打継目地	縦貫資長10mm	0.100×100	10.0 m ²
縦断座席土	$\sigma_{ck}=10.3N/mm^2$		10.30 m ³

※伸縮目地は10m以内とし、防雪柵基礎工2スパンに1箇所、転落防止柵基礎工4スパンに1箇所とする
※防雪柵基礎工等の追加控除数量は含まれていない為、別途計上を行うものとする。

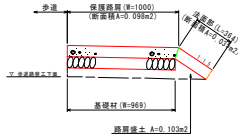
転落防止柵基礎工追加控除数量計算書(100箇所当り)

名 称	規 格	算 式	数 量
コンクリート	二次施工控除	$(0.030+0.3) \times 100$	0.90 m3
基礎材	二次施工控除	$(0.300+0.3) \times 100$	9.00 m2
伸縮地	設置工費除目 二次施工控除	$(0.400+0.1) \times 100$	4.00 m2
防振地	設置品必要基礎外周 二次施工追加	$((0.300-0.400) \times 2+0.1) \times 100$	14.00 m2
防振地	二次施工控除	$(0.025+0.3) \times 100$	0.72 m2

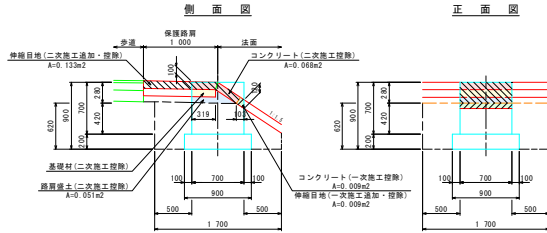
[illegible]

防草工 (NO. 129+9.167~NO. 138) (二次施工) 1/2

防草工 (二次施工) 詳細図

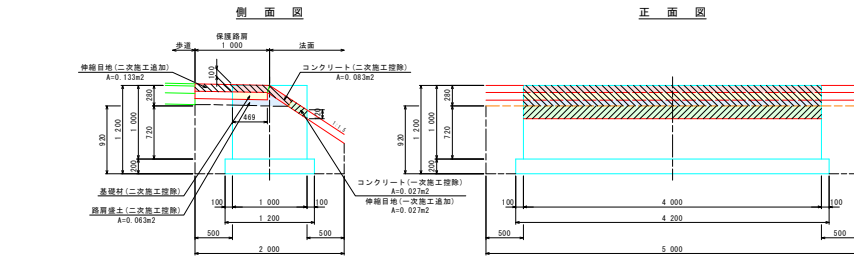


防雪柵基礎 (固定式)



正面図

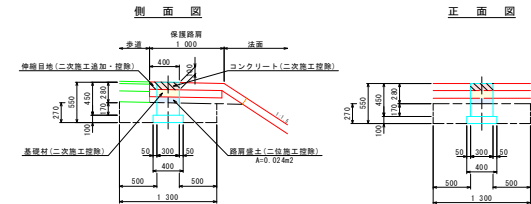
直接基礎



防雪柵基礎工 (直接基礎) 追加控除数量計算書 (10箇所当り)

名称	規格	算式	数量
コンクリート	一次施工控除	(0.027+4.0)×10	1.08 m ³
基礎材	二次施工控除	(0.083+4.0)×10	3.33 m ²
路肩部目地	二次施工控除	(0.469+4.0)×10	18.76 m ²
打継目目地	二次施工控除	(0.104+4.0)×10	4.16 m ²
伸縮目地	防雪柵基礎等 二次施工追加 二次施工追加	(0.120+4.0+0.027+2)×10	5.34 m ²
伸縮目地	防雪柵基礎等 二次施工追加 二次施工追加	(0.100+4.0+0.133+2)×10	6.66 m ²
路肩盛土	二次施工控除	(0.063+4.0)×10	2.52 m ³

転落防止柵基礎



正面図

転落防止柵基礎工追加控除数量計算書 (100箇所当り)

名称	規格	算式	数量
コンクリート	二次施工控除	(0.020+0.3)×100	0.90 m ³
基礎材	二次施工控除	(0.300+0.3)×100	9.90 m ²
伸縮目地	防雪柵基礎等 二次施工追加 二次施工追加	(0.400+0.1)×100	4.00 m ²
路肩盛土	二次施工控除	(0.300+0.400+2+0.1)×100	14.00 m ²
路肩盛土	二次施工控除	(0.024+0.3)×100	0.72 m ³

防草工 (二次施工) 数量計算書 (100m当り)

規格	算式	数量
コンクリート	0.088+0.035)×100	13.30 m ³
基礎材	0.088+0.035)×2	0.27 m ²
伸縮目地	0.088+0.035)×100	96.9 m ²
路肩部目地	0.088+0.035)×100	10.4 m ²
打継目目地	0.104+100	10.0 m ²
路肩盛土	0.103+100	10.30 m ³

※伸縮目地は10m以内とし、防雪柵基礎工2スパンに1箇所、転落防止柵基礎工4スパンに1箇所とする。
※防雪柵基礎工等の追加控除数量は含まれていない為、別途計上を行うものとする。

防雪柵基礎工 (固定式) 追加控除数量計算書 (100箇所当り)

名 称	規 格	算 式	数 量
コンクリート	一次施工控除	$(0.009+0.7) \times 100$	0.63 m ³
	二次施工控除	$(0.068+0.7) \times 100$	4.76 m ³
基礎材	二次施工控除	$(0.319+0.7) \times 100$	22.33 m ²
路肩部目地	二次施工控除	$(0.104+0.7) \times 100$	7.28 m ²
打継目目地	二次施工控除	$(0.100+0.7) \times 100$	7.00 m ²
伸縮目地	防雪柵基礎等 二次施工追加	0.009+100	0.90 m ²
	防雪柵基礎等 二次施工追加	0.133+100	13.30 m ²
	防雪柵基礎等 二次施工追加	$(0.120+0.7+0.009+2) \times 100$	10.20 m ²
路肩盛土	二次施工控除	$(0.100+0.7+0.133+2) \times 100$	33.60 m ²
	二次施工控除	$(0.051+0.7) \times 100$	3.57 m ³

種 別	算 式	数 量
NO. 129+9.167 ~NO. 138	二次施工	
延 長	延長調書より	170 8 m
コ ン ク リ ート	体積 18-8-40, t=10cm 控除 防雪柵基礎工 (固定式) 防雪柵基礎工 (固定式) 防雪柵基礎工 (直接基礎) 防雪柵基礎工 (直接基礎) 転落防止柵基礎工 転落防止柵基礎工 体積合計 面積 22.7- (1.5+0.3+0.2) 20.7/0.10	13.30×170.8/100.0 4.76×31.0/100.0 4.76×31.0/100.0 3.32×1.0/10.0 0.90×26.0/100.0 22.7 20.7
同 上 型 枠	端部型枠 0.27	0 3 m ²
基 礎 材	再生砕石 最大粒径40mm, t=10cm 控除 防雪柵基礎工 (固定式) 防雪柵基礎工 (直接基礎) 防雪柵基礎工 (直接基礎) 転落防止柵基礎工 面積合計 体積 96.9×170.8/100.0 22.33×31.0/100.0 18.76×1.0/10.0 9.00×26.0/100.0 165.5-(6.9+1.9+2.3) 154.4×0.10	165 5 m ² 6 9 m ² 1 9 m ² 2 3 m ² 154 4 m ² 15 4 m ²

防 草 工 計 算 書														
測 点	距 離	保護路肩			法 面(全体) (L)			法 尻 (W1)			基礎材 (W2)			摘 要
		距 離	平均延長	面 積	距 離	平均延長	面 積	距 離	平均延長	面 積	距 離	平均延長	面 積	
NO. 125+16. 320	0. 000	1. 0		0. 0	3. 7		0. 0	0. 4		0. 0	0. 5		0. 0	
NO. 126	3. 680	1. 0	1. 00	3. 7	3. 7	3. 70	13. 6	0. 4	0. 40	1. 5	0. 5	0. 50	1. 8	
NO. 126+4. 466	4. 400	1. 0	1. 00	4. 4	3. 7	3. 70	16. 3	0. 4	0. 40	1. 8	0. 5	0. 50	2. 2	
												※平均長=距離合計÷断面数		
小 計 1	8. 080	3. 0	平均長	8. 1	11. 1	平均長	29. 9	1. 2	平均長	3. 3	1. 5	平均長	4. 0	
合 計 1	8. 080	3. 0	1. 00	8. 1	11. 1	3. 70	29. 9	1. 2	0. 40	3. 3	1. 5	0. 50	4. 0	

防 草 工 計 算 書														
測 点	距 離	保護路肩			法 面(全体) (L)			法 尻 (W1)			基礎材 (W2)			摘 要
		距 離	平均延長	面 積	距 離	平均延長	面 積	距 離	平均延長	面 積	距 離	平均延長	面 積	
NO. 126+9. 351	0. 000	1. 0		0. 0	3. 8		0. 0	0. 4		0. 0	0. 5		0. 0	
NO. 127	10. 374	1. 0	1. 00	10. 4	3. 8	3. 80	39. 4	0. 4	0. 40	4. 1	0. 5	0. 50	5. 2	
KA. 3-2	14. 638	1. 0	1. 00	14. 6	3. 8	3. 80	55. 6	0. 4	0. 40	5. 9	0. 5	0. 50	7. 3	
NO. 128	5. 312	1. 0	1. 00	5. 3	3. 8	3. 80	20. 2	0. 4	0. 40	2. 1	0. 5	0. 50	2. 7	
NO. 129	20. 000	1. 0	1. 00	20. 0	3. 9	3. 85	77. 0	0. 4	0. 40	8. 0	0. 5	0. 50	10. 0	
NO. 129+5. 731	5. 731	1. 0	1. 00	5. 7	3. 9	3. 90	22. 4	0. 4	0. 40	2. 3	0. 5	0. 50	2. 9	
												※平均長=距離合計÷断面数		
小 計10	56. 055	6. 0	平均長	56. 0	23. 0	平均長	214. 6	2. 4	平均長	22. 4	3. 0	平均長	28. 1	
合 計10	56. 055	6. 0	1. 00	56. 0	23. 0	3. 83	214. 6	2. 4	0. 40	22. 4	3. 0	0. 50	28. 1	

防 草 工 計 算 書														
測 点	距 離	保護路肩			法 面(全体) (L)			法 尻 (W1)			基礎材 (W2)			摘 要
		距 離	平均延長	面 積	距 離	平均延長	面 積	距 離	平均延長	面 積	距 離	平均延長	面 積	
NO. 129+9. 167	0. 000	1. 0		0. 0	3. 2		0. 0	0. 4		0. 0	0. 5		0. 0	
NO. 130	10. 833	1. 0	1. 00	10. 8	3. 2	3. 20	34. 7	0. 4	0. 40	4. 3	0. 5	0. 50	5. 4	
NO. 131	20. 000	1. 0	1. 00	20. 0	3. 3	3. 25	65. 0	0. 4	0. 40	8. 0	0. 5	0. 50	10. 0	
NO. 132	20. 000	1. 0	1. 00	20. 0	3. 4	3. 35	67. 0	0. 4	0. 40	8. 0	0. 5	0. 50	10. 0	
NO. 133	20. 000	1. 0	1. 00	20. 0	3. 4	3. 40	68. 0	0. 4	0. 40	8. 0	0. 5	0. 50	10. 0	
NO. 134	20. 000	1. 0	1. 00	20. 0	3. 4	3. 40	68. 0	0. 4	0. 40	8. 0	0. 5	0. 50	10. 0	
NO. 135	20. 000	1. 0	1. 00	20. 0	3. 1	3. 25	65. 0	0. 4	0. 40	8. 0	0. 5	0. 50	10. 0	
NO. 136	20. 000	1. 0	1. 00	20. 0	3. 0	3. 05	61. 0	0. 4	0. 40	8. 0	0. 5	0. 50	10. 0	
KA. 4-1	9. 397	1. 0	1. 00	9. 4	2. 9	2. 95	27. 7	0. 4	0. 40	3. 8	0. 5	0. 50	4. 7	
NO. 137	10. 633	1. 0	1. 00	10. 6	2. 9	2. 90	30. 8	0. 4	0. 40	4. 3	0. 5	0. 50	5. 3	
NO. 138	20. 219	1. 0	1. 00	20. 2	3. 0	2. 95	59. 6	0. 4	0. 40	8. 1	0. 5	0. 50	10. 1	
												※平均長=距離合計÷断面数		
小 計11	171. 082	11. 0	平均長	171. 0	34. 8	平均長	546. 8	4. 4	平均長	68. 5	5. 5	平均長	85. 5	
合 計11	171. 082	11. 0	1. 00	171. 0	34. 8	3. 16	546. 8	4. 4	0. 40	68. 5	5. 5	0. 50	85. 5	

安全施設工

延長調書

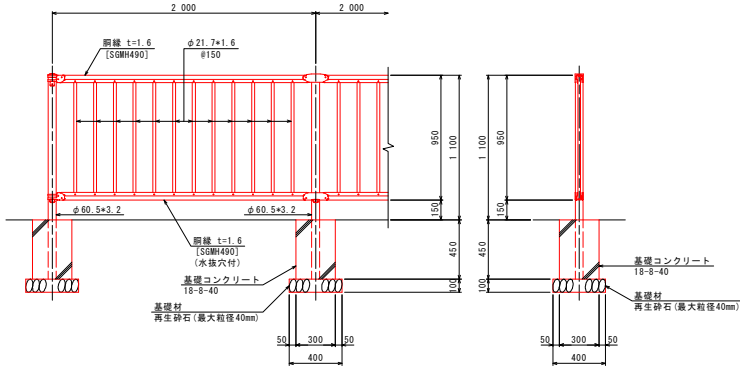
(右側)

転落防止柵 BK-B2-2-K1 (縦格子-耐雪型)

測 点	延長・個数	測 点	延長・個数
NO. 125 + 16.320 ~ NO. 126 + 2.418	6.0 ^m		
NO. 126 + 10.883 ~ NO. 129 + 5.000	54.0		
NO. 129 + 11.076 ~ NO. 132 + 1.076	50.0		
合 計	110.0 ^m		

転落防止柵 (BK-B2-2-K1 縦格子-耐雪型)

正面図



数量計算書 (100箇所当り)

名 称	規 格	算 式	数 量
コンクリート	18-8-40	$(0.3+0.3+0.45) \times 100$	4.05 m3
型枠		$(0.3+0.45+4) \times 100$	54.0 m2
基礎材	再生砕石 (最大粒径40mm)	$(0.4+0.4) \times 100$	16.0 m2

備考
1. 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上部耐候性樹脂粉体塗装とする。但し、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきのみとする。

種 別	算 式		数 量
NO. 125+16.320 ～NO. 126+2.418	延長		6.0 m
基 礎 工	箇所数		3.0 基
コ ン ク リ ー ト	18-8-40	$4.05 \times 3.0 / 100.0$	0.1 m3
同 上 型 枠		$54.00 \times 3.0 / 100.0$	1.6 m2
基 礎 材	再生砕石 最大粒径40mm t=10cm	$16.00 \times 3.0 / 100.0$	0.5 m2
〃	〃	0.50×0.10	0.1 m3
NO. 126+10.883 ～NO. 129+5.000	延長		54.0 m
基 礎 工	箇所数		28.0 基
コ ン ク リ ー ト	18-8-40	$4.05 \times 28.0 / 100.0$	1.1 m3
同 上 型 枠		$54.00 \times 28.0 / 100.0$	15.1 m2
基 礎 材	再生砕石 最大粒径40mm t=10cm	$16.00 \times 28.0 / 100.0$	4.5 m2
〃	〃	4.50×0.10	0.5 m3
NO. 129+11.076 ～NO. 132+1.076	延長		50.0 m
基 礎 工	箇所数		26.0 基
コ ン ク リ ー ト	18-8-40	$4.05 \times 26.0 / 100.0$	1.1 m3
同 上 型 枠		$54.00 \times 26.0 / 100.0$	14.0 m2
基 礎 材	再生砕石 最大粒径40mm t=10cm	$16.00 \times 26.0 / 100.0$	4.2 m2
〃	〃	4.20×0.10	0.4 m3
合 計	延長	$6.0+54.0+50.0$	110.0 m
基 礎 工	箇所数	$3.0+28.0+26.0$	57.0 基
コ ン ク リ ー ト	18-8-40	$0.1+1.1+1.1$	2.3 m3
同 上 型 枠		$1.6+15.1+14.0$	30.7 m2
基 礎 材	再生砕石 最大粒径40mm t=10cm	$0.5+4.5+4.2$	9.2 m2
〃	〃	$0.1+0.5+0.4$	1.0 m3

2. 表層工

本 線 舖 装 工 計 算 書

②再生密粒度As(13) t=4cm

[illegible]

3. 上層路盤工

本 線 舖 装 工 計 算 書

粒調碎石 (M-40) t=15cm

[illegible]

4. 下層路盤工

本線舗装工計算書

再生碎石 (RC-40) t=35cm

[illegible]

2. 路盤工

歩道舗装工計算書

切込碎石 (C-20) $t=10\text{cm}$

測 点	幅	平 均	延 長	面 積		摘 要
	m	m	m	m ²		
右側						
NO. 125+16.32	3.180					
NO. 129+ 3.13	3.180	3.180	66.810	212.5		
NO. 129+ 5.76			2.630	7.0		巻込み部
NO. 129+10.35						
NO. 129+17.52	3.180		7.170	15.8		巻込み部
NO. 138	3.180	3.180	162.480	516.7		
合 計				752.0		

3. 路盤工

鋪裝工計算書

路盤用 砂 $t=15\text{cm}$

測 点	幅	平 均	延 長	面 積		摘 要
	m	m	m	m ²		
右 側						
NO. 125+16. 32	3. 180					
NO. 129+ 3. 13	3. 180	3. 180	66. 810	212. 5		
NO. 129+ 5. 76			2. 630	7. 0		巻込み部
NO. 129+10. 35						
NO. 129+17. 52	3. 180		7. 170	15. 8		巻込み部
NO. 138	3. 180	3. 180	162. 480	516. 7		
合 計				752. 0		

1. 表層工

取付道路工計算書

⑤再生密粒度As (13F) t=3cm

[illegible]

2. 路盤工

取付道路工計算書

切込碎石 (C-20) $t=10\text{cm}$

測 点	幅	平 均	延 長	面 積		摘 要
	m	m	m	m ²		
N0. 126+11. 5 (L)	3. 000		21. 790	73. 3		第2号取付道路図より
N0. 129+9. 7 (R)	3. 000		21. 540	90. 8		第3号取付道路図より
N0. 129+14. 65 (L)	3. 000		21. 310	80. 0		第4号取付道路図より
合 計				244. 1		

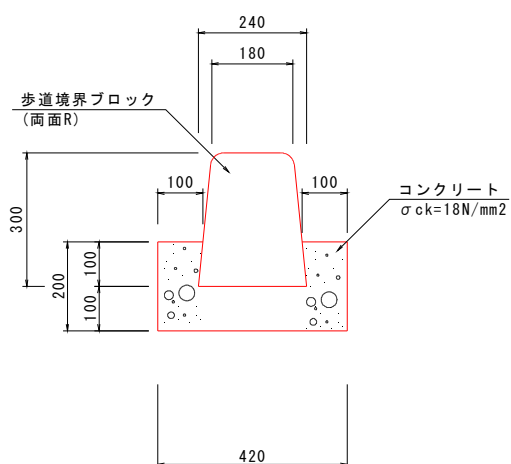
HB-F1-K1

延長調書

左側		右側	
測点	延長・個数	測点	延長・個数
		NO. 125 + 16.32 ~ NO. 129 + 6.10	71 9 ^m
		NO. 129 + 9.90 ~ NO. 138	171 2 ^m
小計	0 0 ^m	小計	243 1 ^m
		合計	243 1 ^m

HB-F1-K1

HB-F-K1 S=1:10



数量表

100m当り

種 別	単 位	数 量	適 用
個	個	50.0	L=2.0m
コンクリート	m ³	6.1	σck=18N/mm ²
同上型枠	m ²	41	
伸縮目地	m ²	0.6	
参考重量	kg/個	296	

[illegible]

§ 9. 道路付属施設工

[illegible]

延長調書

視線誘導標

左側		右側	
測点	延長・個数	測点	延長・個数
土中用		縁石用	
NO. 124 + 5.00		NO. 124 + 5.00	
NO. 125 + 5.00		NO. 125 + 5.00	
NO. 126 + 4.00		NO. 126 + 4.00	
NO. 127 + 14.70		NO. 127 + 14.70	
NO. 128 + 9.20		NO. 128 + 9.20	
NO. 130 + 9.00		NO. 130 + 9.00	
NO. 132 + 9.00	1 0 個	NO. 132 + 9.00	1 0 個
NO. 134 + 9.00	1 0 個	NO. 134 + 9.00	1 0 個
NO. 136 + 9.00	1 0 個	NO. 136 + 9.00	1 0 個
NO. 137 + 9.00	1 0 個	NO. 137 + 9.00	1 0 個
NO. 138 + 11.50		NO. 138 + 3.50	
NO. 139 + 9.00			
小計	4 0 個	小計	4 0 個
		合計	8 0 個

[illegible]

道路案内標識工

数 量 表	
-------	--

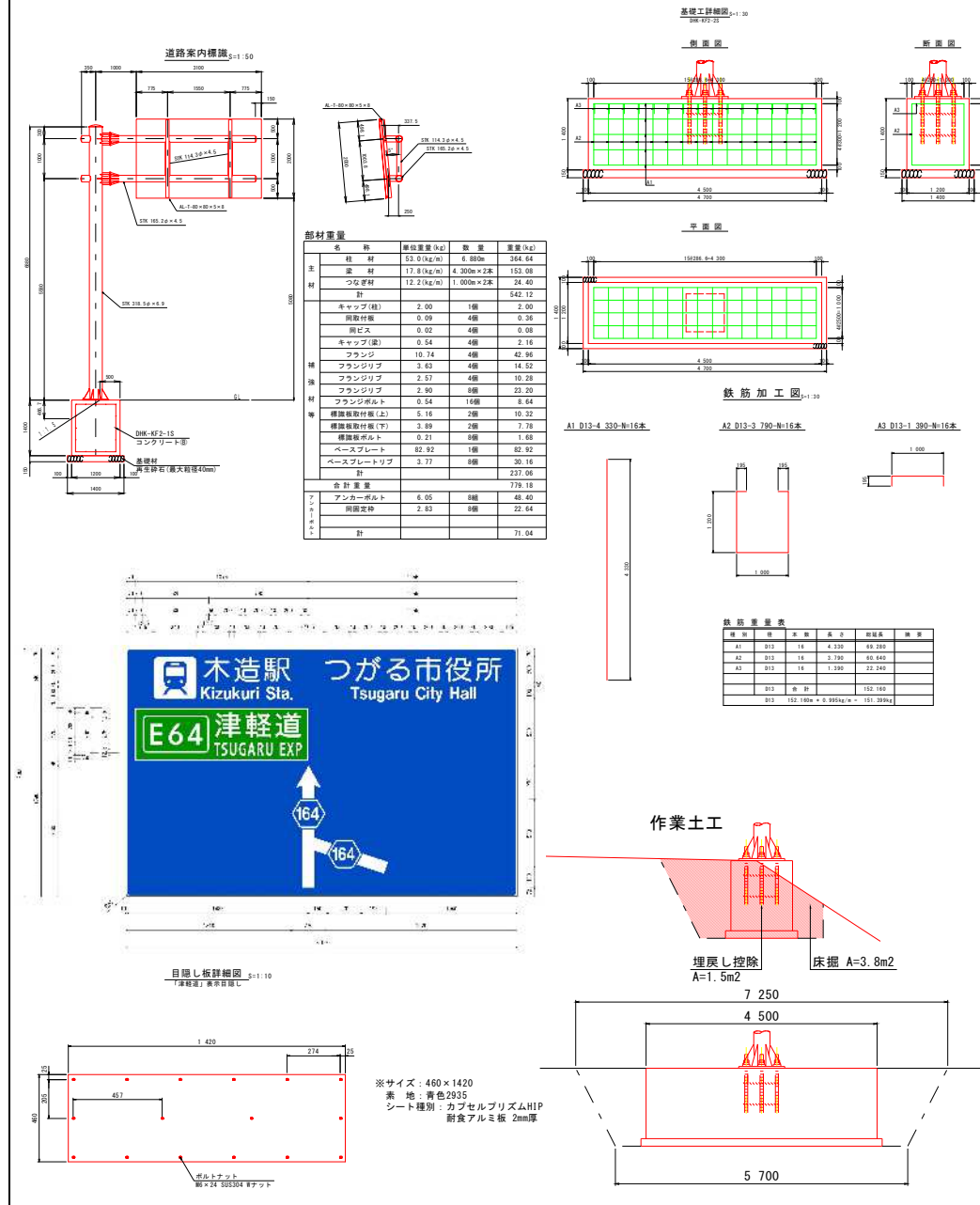
[illegible]

名 称	箇所	板面積			支柱構造形式			基礎構造形式			床 掘 (m3)	埋戻し (m3)	残 土 (m3)
		A (m)	B (m)	面積 (m2)	DHP-KF2- (1)	DHP-KF2- (2)	DHP-KF2- (3)	DHK-KF1-4F	DHK-KF2-1S	DHK-KF2-2S			
案内標識 (1)													
案内標識 (2)													
案内標識 (3)													
案内標識 (4)													
案内標識 (5)													
案内標識 (6)													
案内標識 (7)													
案内標識 (8)	1	2.0	3.1	6.20			1.0			1.0	24.6	16.9	5.8
案内標識 (9)													
合 計	1			6.2	0	0	1	0	0	1	24.6	16.9	5.8

延長調書

測 点		面積・個数		測 点		面積・個数	
案内標識 (1) NO. 44 + 10.0			基				
案内標識 (2)			基				
案内標識 (3) NO. 52 + 5.0			基				
案内標識 (4) NO. 106 + 18.0			基				
案内標識 (5)			基				
案内標識 (6) NO. 4 + 11.0			基				
案内標識 (7) NO. 115 + 19.0			基				
案内標識 (8) NO. 134 + 18.0		1	0 基				
案内標識 (9) NO. 143 + 15.0			基				
合 計		1	0 基				

案内標識 (8)



種 別	算 式	数 量
案内標識	NO.134+18.0(L)	1 0 基
案内標識板	カプセルブリズムHIP A 2000 × B 3100 = 6.20 m ²	1 0 枚
津軽道目隠し板	カプセルブリズムHIP A 460 × B 1420 = 0.65 m ²	1 0 枚
目隠し板ボルトナット	M6 × 24 SUS304	16 0 本
標識支柱	DHP-KF2-(3)	779 18 kg
柱	材 φ318.5 × 6.9 6.880m × 53.0kg/m	364 64 kg
梁	材 φ165.2 × 4.5 4.3m × 17.8kg/m × 2本	153 08 kg
ツナギ材	φ114.3 × 4.5 1.00m × 12.2kg/m × 2本	24 40 kg
補強材等		237 06 kg
標識基礎	DHK-KF2-2S	
コンクリート	コンクリート⑧ A 4500 × B 1200 × C 1400	7 56 m ³
型 枠	4.5 × 1.4 × 2 + 1.2 × 1.4 × 2	16 0 m ²
基礎材	再生砕石 (最大粒径40mm) 4.7 × 1.4 × 0.15	1 0 m ³
	4.7 × 1.4	6 6 m ²
鉄 筋	D13, SD295A	151 40 kg
アンカーボルト		71 04 kg
作業土工	床掘 3.8 × (5.7 + 7.25) / 2	24 6 m ³
	埋戻し 24.6 - 1.0 - 1.5 × 4.5	16 9 m ³
	残土 24.6 - 16.9 / 0.9	5 8 m ³